

安全データシート

改訂日:2021年9月21日

1. 化学品及び会社情報
化学品の名称(製品名)
会社名
住所
電話番号

整理番号

ピオクタニンブルー
米山薬品工業株式会社
大阪市中央区道修町2丁目3番11号
(06)6231-3555(大阪・本社)
(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)
(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
FB0010

2. 危険有害性の要約
GHS分類
健康に対する有害性
ラベル要素
絵表示又はシンボル

急性毒性(経口):区分4



注意喚起語
危険有害性情報
注意書き

警告
飲込むと有害
【安全対策】
取扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
【応急措置】
飲み込んだ場合:口をすすぐこと。気分が悪い時は医師に連絡すること。
【廃棄】
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報
化学物質・混合物の区別
化学名又は一般名
別名
化学式
化学物質を特定できる一般的な番号
濃度又は濃度範囲(含有率)
官報公示整理番号(化審法/安衛法)

化学物質
ピオクタニンブルー
塩化メチルロザニリン、メチルロザリニクロライド
-
CAS RN:8004-87-3
-
(5)-1969

4. 応急措置
吸入した場合

鼻をかみ、うがいをさせる。水でよく口の中を洗浄する。医師の手当を受ける。

皮膚に付着した場合

製品に触れた部分を水で洗い流した後石鹸を用いて十分に洗浄する。痛み、違和感を感じる場合は、直ちに医師の手当を受ける。

眼に入った場合

速やかに清浄な水で最低15分間の洗浄を行う。直ちに医師の手当を受ける。

飲み込んだ場合

直ちに医師の手当を受ける。意識がある場合には、食塩水等を飲ませて吐かせる。

5. 火災時の措置
適切な消火剤
使ってはならない消火剤
火災時の措置に関する特有の危険有害性

周辺火災に適した消火剤を用いる。
水噴霧、粉末消火剤、泡末消火剤、二酸化炭素、乾燥砂
燃焼時に窒素酸化物、硫酸酸化物等の有毒なヒューム又はガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法
消火を行う者の保護

該当情報なし。
消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業の際には適切な保護具を着用し風上から作業して、風下の人を退避させる。

環境に対する注意事項
封じ込め及び浄化の方法及び機材

保護手袋、保護眼鏡、保護衣を着用する。
河川等へ排出され環境への影響を起こさないように注意する。
粉塵の立たない方法で出来るだけ掃き集め、空容器に回収し、後は多量の水で洗い流す。
該当情報なし。

二次災害の防止策

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策(局所排気、全体排気)
安全取扱い注意事項

接触回避

衛生対策

保管

安全な保管条件
安全な容器包装材料

漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに粉塵(蒸気)を発生させない。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の粗暴な扱いをしない。

金属、アルカリとの接触を避ける。

使用後は手をよく洗うこと。

直射日光を避け、換気の良い涼しい場所に密封して保管する。

ポリエチレン

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度(出典)

管理濃度

日本産業衛生学会

ACGIH

設備対策

保護具

呼吸用保護具

手の保護具

眼の保護具

皮膚及び身体の保護具

未設定

未設定

未設定

取扱いについては、できるだけ密閉化を行うか、局所排気装置を使用する。
作業場近くに手洗等の設備を設ける。

防塵マスク又は簡易防塵マスクを着用する。

ゴム手袋を着用する。

ゴーグルを着用する。

作業着を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

臭い

融点・凝固点

沸点、初留点及び沸騰範囲

可燃性

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

引火点

自然発火温度

分解温度

pH

動粘性率(粘度)

溶解度

n-オクタノール/水分配係数

蒸気圧

密度及び/又は相対密度

相対ガス密度

蒸発速度

金属光沢のある暗い黄ないし暗い緑の結晶

該当情報なし。

137℃

該当情報なし。

該当情報なし。

該当情報なし。

該当情報なし。

該当情報なし。

該当情報なし。

該当情報なし。

該当情報なし。

水に易溶

該当情報なし。

該当情報なし。

該当情報なし。

該当情報なし。

該当情報なし。

10. 安定性及び反応性

反応性

化学的安定性

危険有害反応可能性

避けるべき条件

混触危険物質

危険有害な分解生成物

通常の取り扱いに於て安定。

該当情報なし。

該当情報なし。

該当情報なし。

金属、アルカリ

窒素酸化物

11. 有害性情報

急性毒性

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

呼吸器感作性又は皮膚感作性

生殖細胞変異原性

発がん性

生殖毒性

特定標的臓器毒性(単回暴露)

特定標的臓器毒性(反復暴露)

誤えん有害性

経口:

ラット LD50 413g/kg(区分4)

該当情報なし。(分類できない)

該当情報なし。(分類できない)

該当情報なし。(分類できない)

該当情報なし。(分類できない)

該当情報なし。(分類できない)

該当情報なし。(分類できない)

該当情報なし。(分類できない)

該当情報なし。(分類できない)

該当情報なし。(分類できない)

12. 環境影響情報

生態毒性

短期:
(急性)

該当情報なし。(水生生物有害性は分類できない。)

	長期: (慢性)	該当情報なし。(水生生物有害性は分類できない。)
残留性・分解性		該当情報なし。
生体蓄積性		該当情報なし。
土壤中の移動性		該当情報なし。
オゾン層への有害性		当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。
13. 廃棄上の注意		
化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報		産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。
14. 輸送上の注意		
国連番号		—
品名(国連輸送名)		—
国連分類		—
容器等級		—
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策		運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。
国内規制がある場合の規制情報		
陸上輸送		消防法の規定に従う。
海上輸送		船舶安全法の規定に従う。
航空輸送		航空法の規定に従う。
応急措置指針番号		—
15. 適用法令		
化学物質管理促進法(PRTR法)		指定化学物質に該当しない。
毒物及び劇物取締法		毒物及び劇物に該当しない。
労働安全衛生法		名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない。
消防法		危険物に該当しない。
16. その他の情報		
参考文献		16615の化学商品(化学工業日報社) GHS対応ガイドライン(日本化学工業協会)
その他		記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。